

墨雲日記

令和四年
春号
第二十四号
松雲書道会
事務局
〒50
(24) 8074



新しくはじまる四月

冬の間、ねむっていた草や木は新しくめを出しさくらの花はさきはじめ、小川の水も音をたてて流れはじめます。

このように自然は長いねむりからさめて動きはじめます。自然だけでしよいか。小学校も中学校も大学も、学年が一つずつ進み新しく一年生も入ってきますね。みなさんのお兄さん、お姉さんも新しく会社に入るのも四月です。

このように四月はすべてのものが新しくはじまる月なのです。新しい本、新しい教室、新しい友だち、新しい先生、なんだか心がうきうきしてきませんか。

どうかこの新しい気もちをいつまでももちつづけて、しっかりとがんばってください。

いよいよ春到来ですが未だにコロナの影響が収まらず、石油製品は様々な物価上昇、ウクライナの戦況等々心が痛む事ばかりですが、何はともあれ前に進むことが大事です。皆で智慧を出し合い乗り越えよう。これから色々な行事が控えておりますがしっかりと準備をして協力し合いながら楽しんでいきましょう。

春の生徒募集キャンペーン中!

ステキなプレゼントを用意してお待ちしております

「書道」が初の登録無形文化財に登録され、日本書道文化協会が保持団体に認定される

12月27日、末松信介文部科学大臣から日本書道文化協会(井茂圭洞会長)に認定書「文化財保護法第76条の7第3項の規定により登録無形文化財「書道」の保持団体として認定します」が手交された。

書道用品も値上りの嵐です!

紙、筆をはじめのほとんど全てが値上げ傾向です。石油の値上げが影響しているようです。皆様にはなるべく安くて良品を提供するよう努力いたします

第42回墨雲展

新津美術館市民ギャラリー
6月23日(木) ~ 26日(日)

※一般の方はそれぞれ課題を決めて下さい。決まった方からお手本を書きます。拝覧使用の方は6/5までに義道教室へ拝参して下さい。

第26回書花展

新潟県民会館1F展示室
9月1日(木) ~ 9月4日(日)

追って選抜者にはご通知いたしますので協力お願いします。

令和3年12月2日の官報において、「書道」が登録無形文化財に登録され、同年8月26日に設立された日本書道文化協会が書道の保持団体に認定された。既に10月15日に文化審議会答申で公表された内容だが、今回の官報告示により、正式に「書道」が登録無形文化財となり、日本書道文化協会が保持団体になることが決定されたことになる。文化財保護法による登録無形文化財の登録は、書道が初めてであり(伝統的酒造りも同時に登録)、我が国が保護継承していく文化財として認められたことは書道界にとって大きな朗報だ。また、従来目指してきた「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録に向けても大きな前進と言える。

愛別離苦 (あいべりりく)

「愛別離苦」ということばがあります。愛するものと別れ離れる苦しみという意味です。これは仏教で人間の苦を「四苦八苦」と説く中の一つです。四苦には「生

老病死」の四つがあり、他に愛別離苦・怨憎会苦(おんぞうえく)・求不得苦(ぐふとくく)・五蘊盛苦(ごうんじょうく)の四つを合わせて八苦となります。

生きているかぎり、私たちはなかなか四苦八苦を離れることはできません。ただどのようなにしてその苦しみを乗り越えて行くかが、私たちに問われてきます。仏教では苦の原因をしっかりと見つめなさいと教えています。では愛別離苦の原因は、何なのでしょう。愛する人と別れる深い苦しみのもとにあるのは、実は私が愛するその人と出遇えていたのだという事実です。

フリート7を企画しましたので何れも会長に聞いてみて下さい

墨雲展の作品制作も出ますので多数のご参加をお願いします

日時	4月9日[土] 午後1:00~午後8:00迄可
会場	新津地区市民会館 2F 第1会議室
参加費	3,300円+会場費・雑費300円 U23は1,500円、高校生は無料(但し雑費300円)
内容	毎日展、県展、墨雲展に向けての作品錬成 書道用具特価販売有り
日時	4月10日[日] 午前9:30~午後4:00
会場	新津地区市民会館 2F 第1会議室
参加費	3,300円+会場費・雑費300円 U23は1,500円、高校生は無料(但し雑費300円) ※二日間参加される方には会費の割引があります ※昼食は各自でご用意して下さい!
内容	毎日展、県展、墨雲展に向けての作品錬成 書道用具特価販売有り

次回予告 5月4日(水・祝) 墨雲展 墨手本揮毫・毎展県展×切
6月5日(日) 墨雲展作品×切 (終了後役員会予定)